



第一高等学校

白梅だより

平成23年度

〈第4号〉

11月1日発行

来たれ! 男子生徒!

「男女共学推進についての座談会」報告

9月27日(火)に生徒、職員、清香会(同窓会)、好文会(保護者会)の方々に集まっていただき、男女共学推進に向けての座談会を開きました。それぞれの立場での率直な意見を聞くことができました。今回はその報告です。

第一高校の現状は?

生徒: 生徒は仲が良く、活発な人が多い。勉強でも部活でもボランティアでも頑張っている。

生徒: クラスを超えて仲がいい人が多い。過ごしやすく、明るい人が多い。

生徒: 先輩が優しく、良くしてくれる先輩が多い。

保護者: 第一の生徒は心優しい生徒が多い。第一高校の近所に住んでいるが、学校の評判は良い。生徒さんはよく挨拶をしてくれる。社会に出ていくための大切なことを学んでいる。

保護者: 制服もきちんと着こなしているし、学校に対しては誇りを持っているようだ。部活動に入っているが、学年を超えて仲がよく、何でも丁寧に教えてくれるので助かっている。この雰囲気の後輩たちにつなげるのが大切だと話している。

職員: クラスマッチなどではクラスとしての団結力がとても強く、担任をして驚いた。女子だけだと進路に対する考え方に共通性が多く、広がりが少なくなるのではないかな。

職員: 自分の本音を出して接することができるので、卒業後のつきあいも深く、長く続いている。男子がいて女子が譲り合う場面もあるが、女子だけだと積極的にリーダーシップを取る生徒が多く、社会に出てから役に立っているのではないかな。



男女共学を推進するのはなぜ?

同窓会: 「今なぜ男女共学なのか」と思っている生徒が多いのではないかな。生徒の本音は?

生徒: 正直に言うと、「何で今さら男女共学を推進するのか?」とほとんどの生徒は思っている。2, 3年生は女子だけの生活をしてきているので、男子が入学してもどう触れ合っているかわからない。

生徒: 1年生の時は、男子に入ってきて欲しかったが、慣れると女子だけがいい。

生徒: 女子だけで楽しむという生徒も多いが、サッカー部や野球部ができることを期待している生徒もいる。

同窓会: 男女共学を推進するのはなぜだと思うか。

生徒: 学力向上のためだと思う。(生徒一同うなずく)

生徒: 他校に抜かれているから……。大半の生徒は学力向上のためだと思う。

同窓会: 清香会の役員になって第一に来る機会が多くなった。生徒の礼儀正しさは昔から少しも変わっていないと感じた。また、体育祭を見て、男女共学校の体育祭とは少し違うなと感じた。感動し、元気もあるが、もっと力強さや迫力、競争心があってもいいのではないかなと思った。私の時も女子だけだったので、女子だけの中に入るのが不安だった。大学も女子大だったたので、社会に出たとき、男子に対する免疫力がなく不安だった。男女共学だと不安が少しでも早く解決できるし、違った意見を聞きたい時に同級生に男子がいるというのはとても心強いと思う。

同窓会: 男子がいて女子がいるというのが本来の姿である。勉強でもスポーツでも男女で競いあって欲しい。世の中の流れは男女共学に向かっている。(裏面へ続く)



職員：入学前は男女共学校がいいと思っている生徒が多いので、男女共学は歓迎されるべきではないか。男子生徒がいる中でもリーダーシップを取れるような教育をしていかなければと思う。

職員：生徒に聞いてみると、男子が自分たちの学年に入ってくるのは不安だが、後輩としてはいいと言っている。生徒たちも複雑な気持ちでいるようだ。

共学にむけて、これからどうすべき？

保護者：第一にきたら男子の居心地がよくなるような学校になると、学校の評判もよくなり、受験者も増え、学力も自然と向上していくのではないかな。

生徒：在校生としては、女子だけでこれだけやれるんだということは守っていきたい。男女の相乗効果もあるが、これまでの伝統は守っていかなければならない。

生徒：男女共学を推進していることをきちんと説明してもらえれば、協力したい。

保護者：「第一が好き」という気持ちをこれから入学してくる生徒も持ち続けて欲しい。「男子が入ってから、もっと良くなったね」と言われる学校になって欲しい。

生徒：今回のように意見を言う場を多くの生徒に対して提供して欲しい。

同窓会：体育祭では応援団の競演などすごいパワーだと思った。男子が入学したらもっとパワーアップするのではないかな。

生徒：第一は女子校というイメージが強い。共学校と言うと驚かれる。周辺の中学校だけでなく、遠方の中学校にも伝えて欲しい。

生徒：体育祭でもプログラムを変えないと楽しくないのではないかな。

職員：大人は準備を進めてきている。在校生が男子生徒を受け入れて変わって行こうという気持ちにならないと男女共学は成功しない。座談会に出席して、「第一も変わらなければならない。変わる時期に来ているんだ。」ということを実感した。生徒もそういう気持ちになって欲しい。

中学生へのメッセージ！

同窓会：今、高校受験を前に自分の進路に思いを巡らせていると思います。高校時代にはいろいろなことにチャレンジし、思い出がいっぱい詰まった青春時代の交差点のような気がします。私の人生の原点となっています。そして、その可能性を広げてくれた高校が108年の歴史と伝統の上に新しい息吹を創りだそうとしています。在校生とともに新しい風になって、高校生活を楽しんで欲しいと願っています。一高生のチャレンジに期待し、これからも応援します。

生徒：第一高校は伝統ある学校です。みなさんも私たちと一緒に伝統を築き、楽しい高校生活を送りませんか？

生徒：第一高校は他校に負けない“輪”があります！その輪にぜひ入ってください！！

生徒：第一高校は、勉強や部活動、ボランティア活動など一生懸命に取り組む人たちばかりです。みなさんも私たちと一緒に高校生活を楽しみながら、自分の夢に向かって頑張ってみませんか？

※懇談会に出席した生徒たちの要望を受けて、10月31日(月)に全校生徒に向けて、森塚校長が「男女共学推進の目的」、「具体的な取り組み」などについて説明しました。また、生徒の質問に答えたり、要望を聞きました。



2年9組



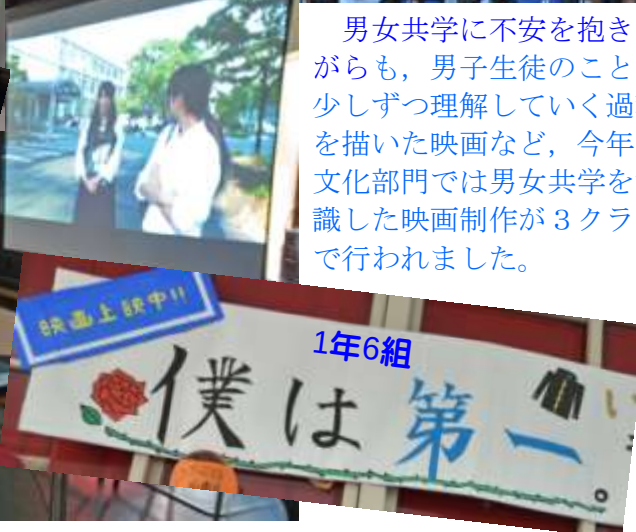
第34回一高祭文化部門

～男女共学関連映画制作～

男女共学に不安を抱きながらも、男子生徒のことを少しずつ理解していく過程を描いた映画など、今年の文化部門では男女共学を意識した映画制作が3クラスで行われました。



2年3組



1年6組

